



---

---

# AT-WDM03 リリースノート

---

この度は、AT-WDM03 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン 1.2.3

---

### 2 本バージョンで修正された項目

---

ファームウェアバージョン 1.2.1 から 1.2.3 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 2.1 アクセスフィルターで、ICMP を許可 (PASS)、GLOBAL を破棄 (DISCARD) という設定をした場合に、ICMP が許可されずに破棄されていましたが、これを修正しました。
- 2.2 コマンド入力途中で ? キーによるヘルプを表示したあと、Backspace キーや Delete キーでコマンドを編集し実行すると、エラーが表示されること、またはコマンドが正しく実行されないことがありましたが、これを修正しました。
- 2.3 筐体に設定された IP address と同じネットワーク宛のダイレクトブロードキャストを受信しても応答しませんでした。これを修正しました。
- 2.4 SET TIME コマンドにおいて、「set time=23:59:59」と設定した場合に、「23:59:00」、「00:59:59」といった意図しない時間に設定される場合がありましたが、これを修正しました。
- 2.5 SNMP マネージャーからの SNMPv3 Get Request に対して、本製品が応答することがありましたが、これを修正しました。
- 2.6 オブジェクト ID : 1.3.6.1.2.1.2.2.1.0 (ifTable.ifIndex.0) の Get Request に対して不正に値を返していましたが、エラーで応答をするように修正しました。
- 2.7 長時間にわたり製品本体宛通信が実施されると、リポートする場合がありますが、これを修正しました。
- 2.8 電源ケーブル抜き差しによる再起動後、SHOW IP コマンドを実行することにより、稀にリポートする場合がありますが、これを修正しました。

- 2.9 コンソールポート経由でTelnet接続すると表示が正しく行われなかったことがありますが、これを修正しました。
- 2.10 AT-G2HA/HB を使用した際、SHOW WDM CHANNEL LEVEL コマンドによる RX (光入力レベル) の値が「-0.0dBm」と表示されていましたが、これを修正しました。
- 2.11 ARP パケットにより本体宛の通信に負荷をかけるとバッファが枯渇することがありましたが、これを修正しました。
- 2.12 SET SNMP LISTENPORT コマンドを実行した際、正常な値を入力したにもかかわらず、「A Port number was not able to be changed」と表示される場合がありますが、これを修正しました。
- 2.13 SHOW LOG コマンドで DATE パラメーターを指定した場合に正しくログが表示されませんでしたでしたが、これを修正しました。
- 2.14 CLI において、内容を複数ページに分割して表示している時、C (連続表示) や Q (表示終了) などのキーを入力しても、正しく処理されない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.15 Telnet のリスニングポート番号を変更した際に不正なログが表示される場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.16 SHOW SNMP COMMUNITY=all を実行した際に正しく、SNMP コミュニティーの情報が表示されず、また、CREATE SNMP COMMUNITY=all を実行した際にエラーとなりましたが、これを修正しました。
- 2.17 SNMP のリスニングポート番号を変更しても、正しく設定に反映されませんでしたでしたが、これを修正しました。
- 2.18 PING コマンドのエラーメッセージに誤りがありましたが、これを修正しました。
- 2.19 RESET ETH コマンドのヘルプ表示に誤りがありましたが、これを修正しました。
- 2.20 LOGOUT コマンドのヘルプ表示に誤りがありましたが、これを修正しました。
- 2.21 SHOW FILE コマンドにて 1024 バイト以上のファイルを表示させるとレポートする場合がありますでしたが、これを修正しました。

### 3 本バージョンでの制限事項

---

ファームウェアバージョン 1.2.3 には、以下の制限事項があります。

- 3.1 リンクテスト機能を実行する際、場合によって、RLL エラーが検出されることがあります。



ヒント リンクテストには、RLL エラーによる影響はありません。


- 3.2 アクセスフィルター機能の TFTP グループは機能しません。従って、TFTP グループにアクセスフィルターを設定しても、TFTP によるダウンロード、アップロードはフィルターされることはありません。

## 4 取扱説明書の補足

---


取扱説明書（J613-M0049-10 Rev.B）の補足事項です。

### 4.1 インターフェース

 「AT-WDM03 取扱説明書」73 ページ


ミッシングリンク機能有効時、光 GBIC を装着した WD1001/WD1002 のポートステータスを DISABLE WDM PORT コマンドによって無効に変更した場合、リモートポートのリンクはダウンしません。

### 4.2 ファイルシステム

 「AT-WDM03 取扱説明書」114 ページ

ファイル名の太文字 / 小文字は区別されません。

### 4.3 SNMP

 「AT-WDM03 取扱説明書」165 ページ

スタック接続された WD1001/WD1002 は、AT-WDM03 を装着し、スタック ID 0 に設定された WD1001/WD1002 の一部として管理されます。このため、これらの機器を Swim Manager にて検索した場合、リモートポート、ローカルポートをツリー状に表示することはできません。

## 5 取扱説明書について

---

最新の取扱説明書（J613-M0049-10 Rev.B）は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記の取扱説明書に対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書が上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>